



# 3月使い

実はこのお話、数年前にお便りで書いたのですが、三月のお節句が来ると、いつも私は思い出します。そして面白いのでついお話ししたくなるのです。みなさんも多分忘れてみえるでしょうから、お話ししてもちようど良いかもしれませんね。それは、お雛様（おひなさま）とお内裏様（おだいらさま）のお話。雄雛（おびな）がお内裏様で、雌雛（めびな）がお雛様だと勘違いしている人の何と多いことか？ そういう私もそう思っていたのですから仕方ありません。実は原因を作ったのが戦後の有名な「リンゴの唄」の作詞家サトウハチロー先生の勘違いから生まれたというお話。それは「うれしいひなまつり」の2番の歌詞がその重大なミスだったという事。お内裏様とお雛様、二人ならんですまし顔、この歌詞が問題です。雄雛がお内裏様、雌雛がお雛様と思ってもらえない歌詞、しかし実は宮中の最も 高貴な場所を内裏（だいり）と言います。そこにおわします御二人が、お内裏様で、お雛様とは全ての お人形の事を指します。これにはいさ

さか、サトウハチロー先生の責任は重大です。しかもこの歌、全国的に広まってしまつて学校の教科書にも載つてしまいました。そうなる前に気がついたなら早く訂正して変更すればよかつたのに、当時の文部省も先生方もそのまま通してしまつて、恥の上塗りになつてしまつたようです。

また、雄雛と雌雛が関東と関西では逆だというお話も興味深い事だと思つたのですが、関東では、昭和天皇の即位の時から変わったと言われます。天皇、皇后のお二人が座る位置は、北を背にしてお座りになるので、先に日の当たる側に天皇が座られる。つまり下々の側から見ると右側、東側が天皇陛下となります。それ以前は一般的には向かつて左側に雄雛、右側が雌雛で、結婚式の新郎も こちらから見ると左側です。すよね。何気なく見ていると、このような違いに気が付くと興味深いものです。

さて、話題を変えますが、花の季節です。この冬はラニーニヤで寒いと言われましたが、結果はとんでもなく暖冬であつた事もあり、桜も去年同様きつと早く咲くだろうと言われます。花粉は嫌ですが、やはり

春つていいなあ！ たくさんの花が、それぞれに美しく、艶やかな花もあり、また可憐で素朴で、つつましく、身の程をわきまえて咲く花もいいですね。私も自分の身の程をわきまえて行動し、周りからどう思われているか少し気にしながら、節度を持って、人への思いやりを大切に生きようと思つていますが、心がけというのは大切ですが、慣れてくると、つい忘れがちになります。そんな時こそ自分を戒（いまし）めないといけません。 拝

## 令和三年3月おもしろ記念日

### 3月の誕生石は【アクアマリン】

1 (月)	豚の日
2 (火)	ミニチュアの日
3 (水)	ひなまつり
4 (木)	ミシンの日
5 (金)	サンゴの日
6 (土)	世界一周記念日
7 (日)	消防記念日
8 (月)	ミツバチの日
9 (火)	ありがとうの日
10 (水)	砂糖の日
11 (木)	パンダ発見の日
12 (金)	スイーツの日
13 (土)	サンドイッチデー
14 (日)	ホワイトデー
15 (月)	靴の記念日
16 (火)	十六団子
17 (水)	漫画週刊誌の日
18 (木)	点字ブロックの日
19 (金)	カメラ発明の日

20 (土)	春分の日・電卓の日
21 (日)	ランドセルの日
22 (月)	放送記念日
23 (火)	世界気象デー
24 (水)	マネキン記念日
25 (木)	電気記念日
26 (金)	カチューシャの歌の日
27 (土)	京都表千家利休忌
28 (日)	シルクロードの日
29 (月)	マリモの日
30 (火)	マフィアの日
31 (水)	エッフェル塔の日